

平成26年度地区防災計画モデル事業(2次募集)

県境を越えた津波住民避難から始まる 地区防災計画モデル事例

三木地区まちづくり推進協議会
三木地区自主防災会

事務局長 竹本 利夫

石川県加賀市

石川県加賀市

面積: 306.00m²
人口: 70,136人
世帯: 28,807世帯
(平成27年2月1日現在)

片山津温泉



加能ガ二



山代温泉



九谷焼



山中温泉



山中漆器



【三木地区】
・石川県の最西端
・福井県との県境
人口: 1,636人
世帯: 622世帯



Lady Kaga

わたしたち「レディー・カガ」がお迎えます。



Lady Kaga

加賀市のまちづくり推進協議会とは

ほとんどの町内会役員等は、旧公民館業務で切迫！

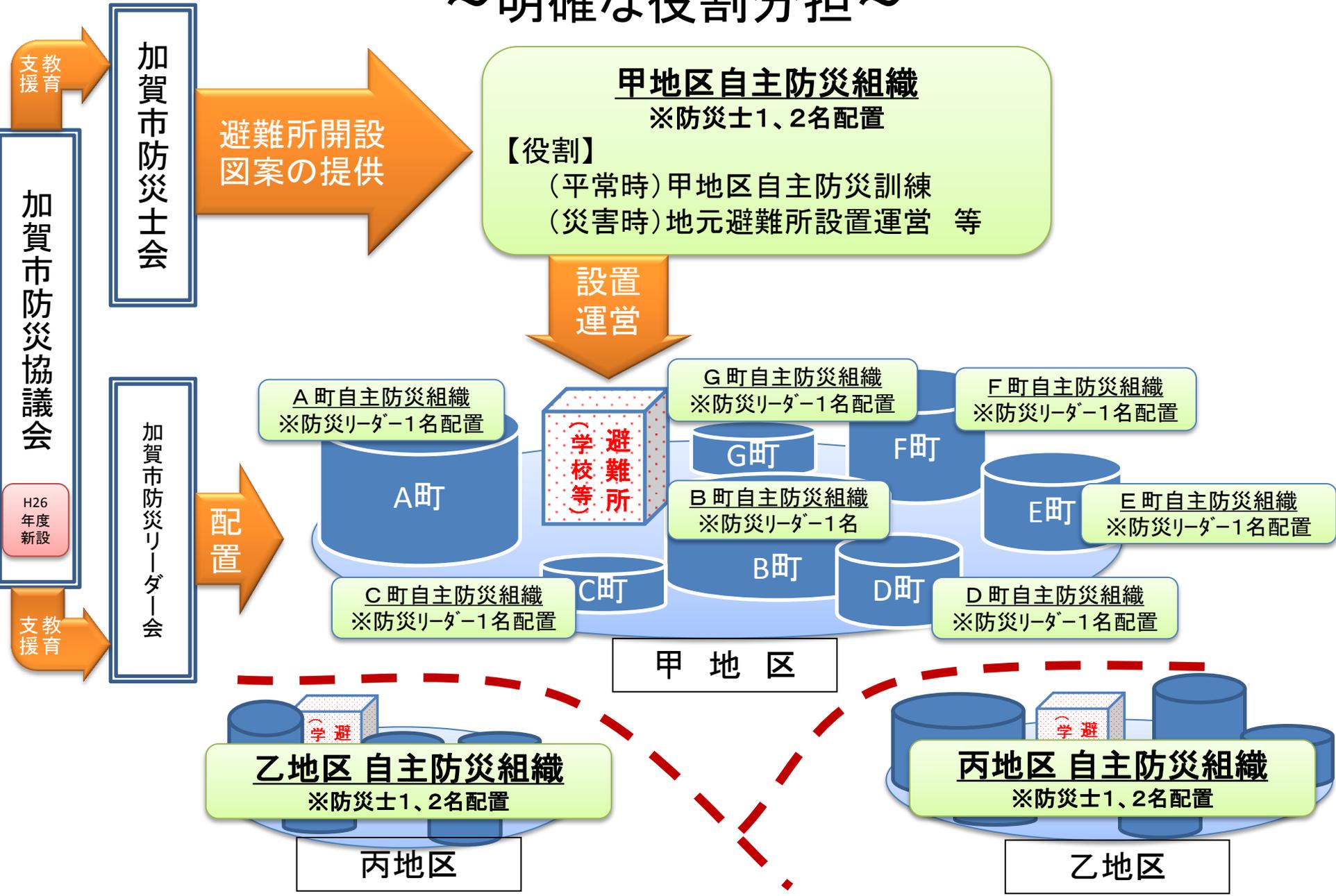


『地区（≡小学校校下）』を設置し、全21地区には、“地区まちづくり推進協議会”が存在している。

【防災に関する支援内容】

- ・市は、各種関連事業費を「まちづくり推進協議会」に補助金として交付し支援している
- ・地区自主防災会は「まちづくり推進協議会」の下部組織としてその中で支援を受け活動する

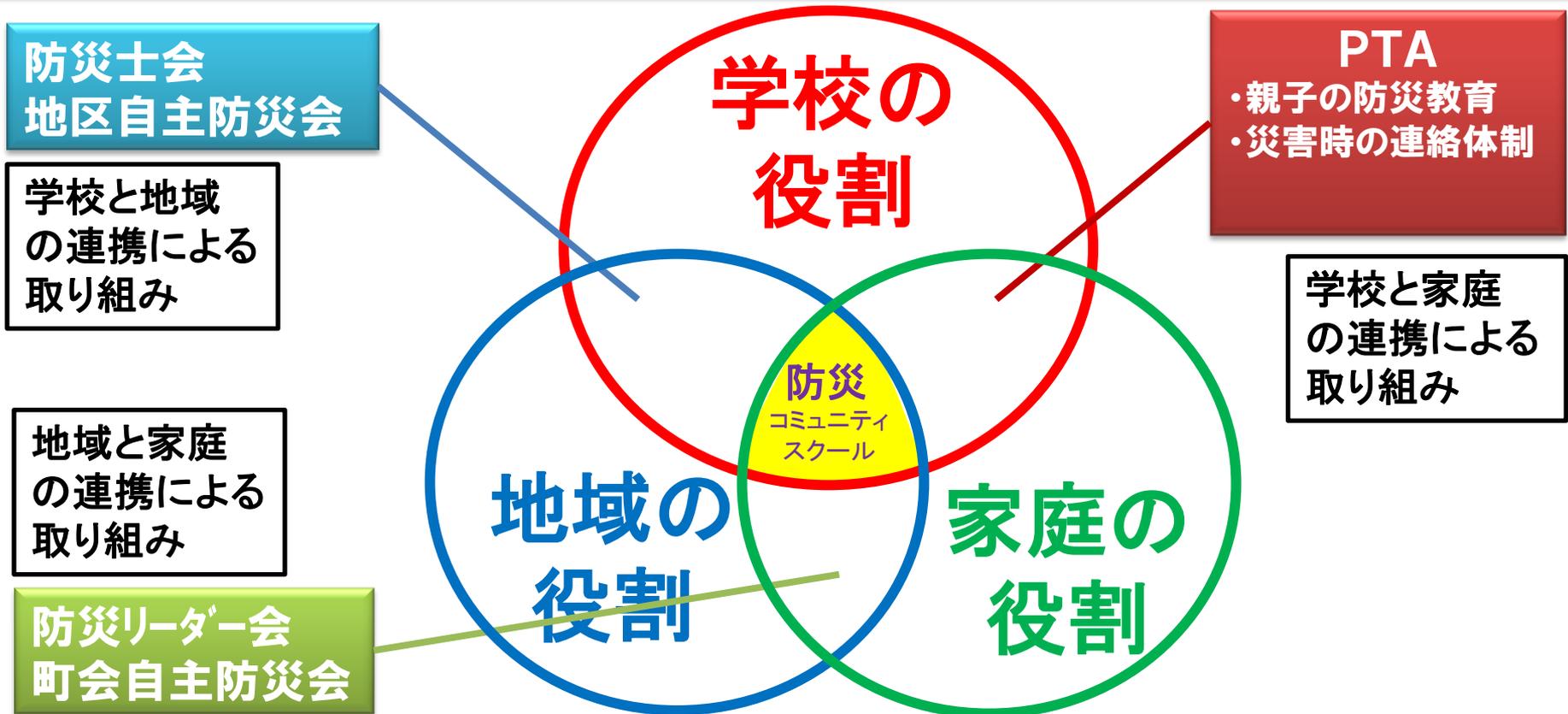
加賀市の“避難するまで”と“避難したあと” ～明確な役割分担～



子供を守り、地域住民を守る学校を目指して！

加賀市防災コミュニティスクール事業モデル地区

～学校を核とした地域、家庭との連携づくり～



- ・避難所となる学校を中心に、学校－地域－家庭が連携して、日頃から防災に関する地域課題を協議する場を設置することで、顔の見える関係づくりを行い地域防災力の向上を目指すもの
- ・避難所のあり方について協議検討を行い、円滑な避難所の設置運営を目指すもの（防災資機材の分散備蓄、避難所の運営組織など）

H26内閣府地区防災計画モデル地区 ～地区防災計画立案までの道のり～

ポイント①

- 防災活動はまちづくり活動の評価

ポイント②

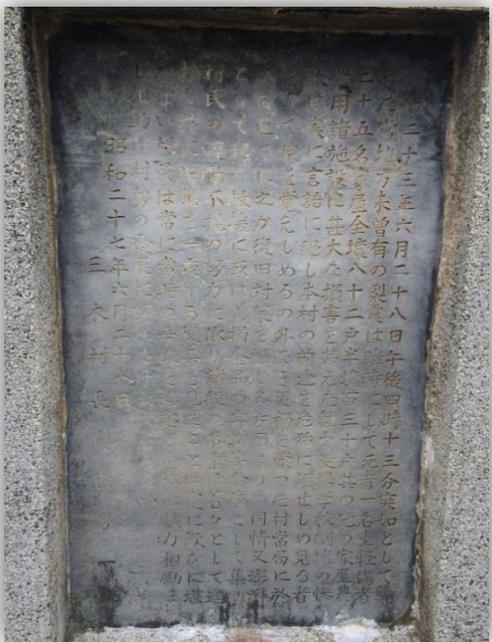
- ぶれない継続的な活動を支える
防災士・防災リーダーの役割

ポイント③

- 無理をしない、みんなで一歩

北陸震災記念碑

昭和二十三年六月二十八日の北陸大震災(福井大地震)の記念碑が、現在の三木地区会館に建てられています。震災を教訓として、村の発展を願う当時の三木村長の言葉が碑文に書かれています。



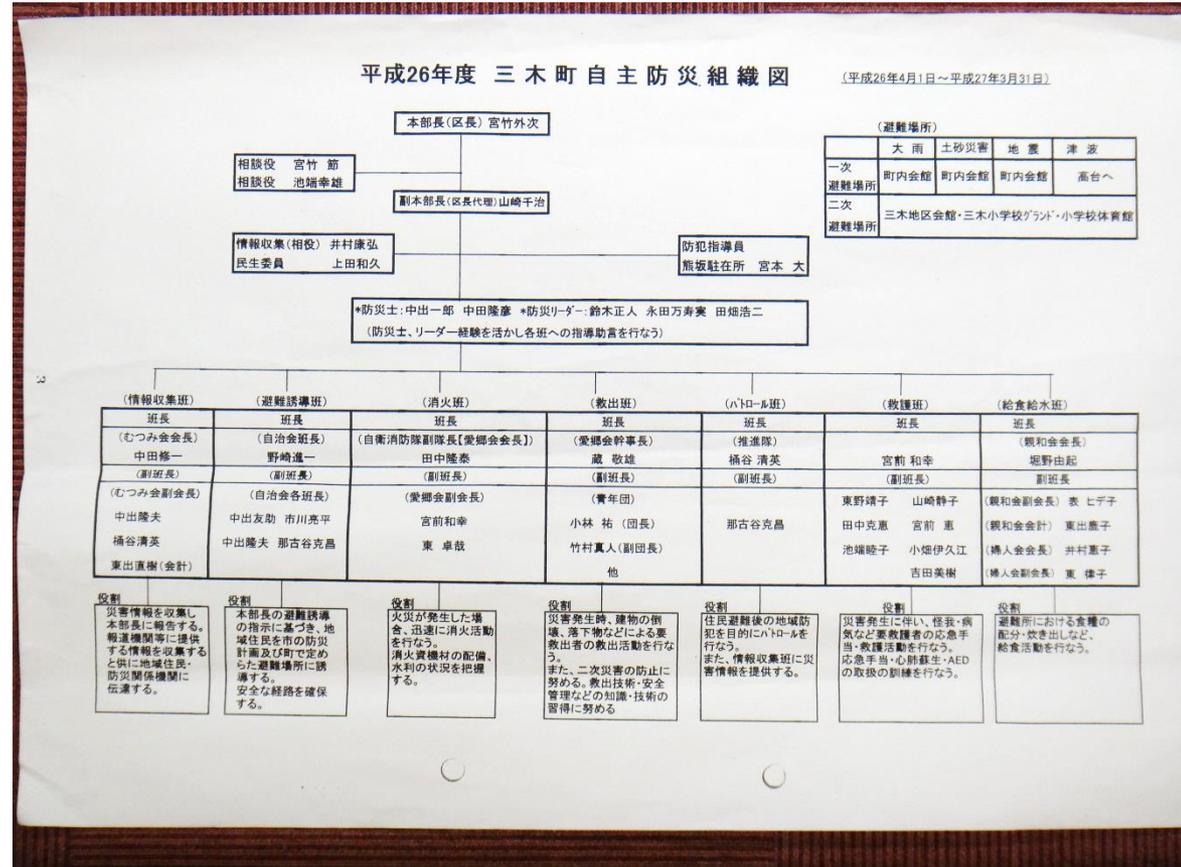
昭和二十三年六月二十八日午後四時十三分(当時サマータムタイム実施、現在の午後五時十三分)、突如として襲った未曾有の裂震は瞬時にして死者一名、重軽傷者二十五名、家屋全壊八十二戸、半壊百三十戸その他の家屋、農業用諸施設に甚大な損害を与えました。とりわけ、役場と学校の倒壊の惨状は、言葉にならないほど、この村の前途が危ぶまれるようでありました。見る者に涙が出るほどの災禍を被った村当局においては、直ちに復旧対策を講じました。各方面からの同情は盛んに湧き起り、救援や義損金品の寄贈等が集まりました。

村民の困難に屈しない努力により、復旧事業は着々と進められ、ここに震災以前から一変する復興を見たことは、誠に歓びに堪えません。村民は常に、当時の辛酸を想起し、心を合わせ協力し、互いに励まし助け合いながら村の発展に努めましょう。

昭和二十七年六月二十八日
三木村長

①防災活動はまちづくりの評価

- ・三木まちづくり推進協議会の活動が
防災活動の際に効果を発揮
- ・まちづくり活動の各推進部会が防災活動でも大切な役割



②ぶれない継続的な活動を支える 防災士・防災リーダーの役割

- ・中核になる役職は継続した人が担当
(例)会長代行(防災活動実践者)、幹事(防災士、防災リーダー)、事務局長(公民館長)
- ・三木地区防災士・防災リーダーの会の新設
- ・加賀市の防災担当課、消防署との強い連携
(例)防災講習会講師、DIGの指導など



③無理をしないでみんなで一歩

- ・年1回の三木地区一斉避難訓練

⇒市総合防災訓練の日時に合わせて実施

- ・防災訓練アンケートを毎回全戸数対象で行い、
結果の公表と次の活動のヒント

⇒みんなで考えて、みんなで一歩！

- ・子どもが命を守る的確な判断力と行動が取れる活動

⇒市防災コミュニティスクール事業と連携し、市教委の巻き込み



これからの課題

1 石川・福井県境の吉崎地域

(あわら市吉崎＋加賀市吉崎町)の防災対策

⇒連携した防災活動ができないだろうか

2 三木地区で地震災害等に遭った時、

すぐに避難できる“いのちの道”と避難所への表示

⇒みんなで考えて、みんなで一歩！

3 子どもが命を守る

『的確な判断力と行動』が取れる活動

⇒市防災コミュニティスクール事業と連携し、市教委の巻き込み

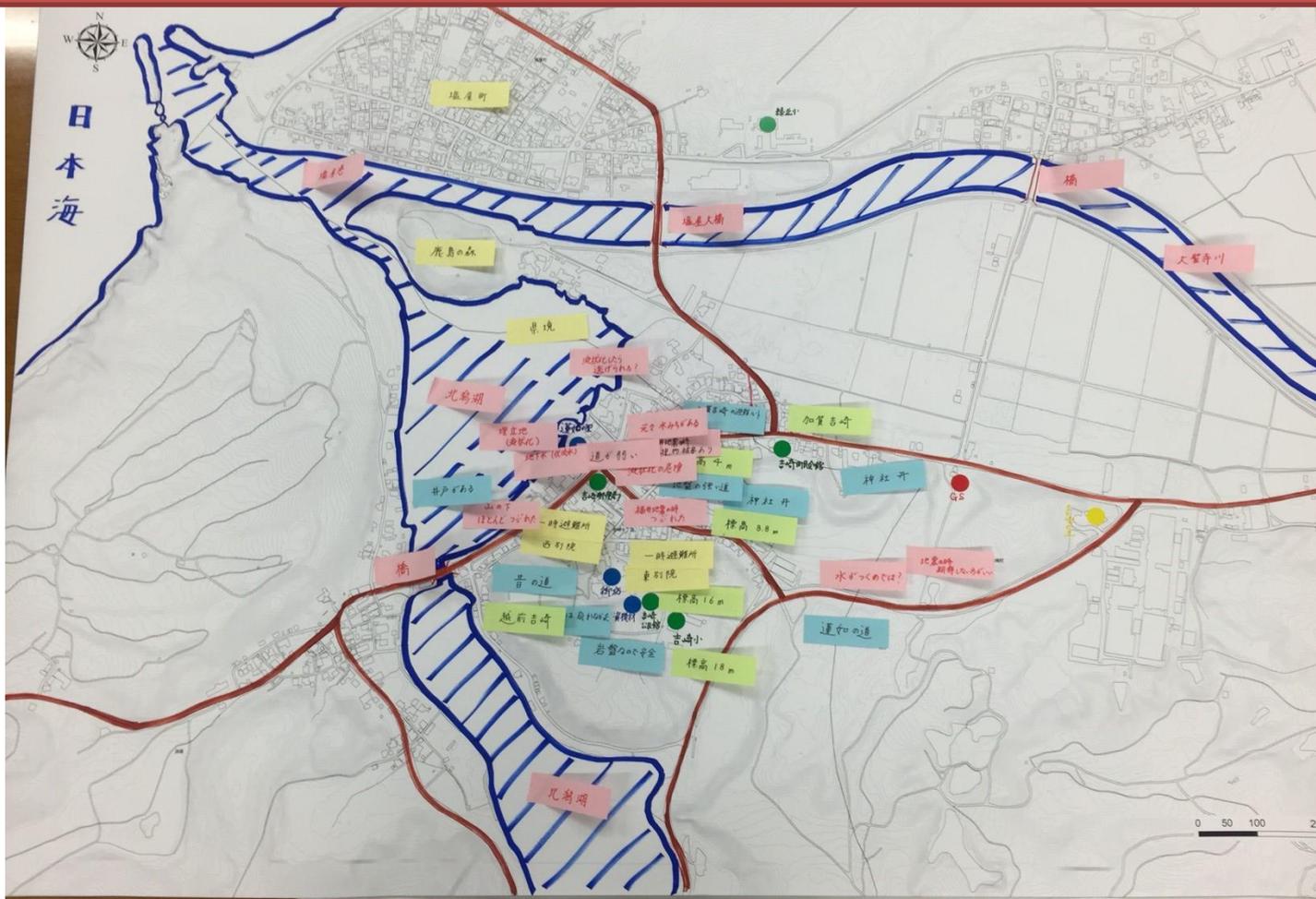
県境を越えた取り組み

◎福井県側の吉崎地区と石川県加賀市吉崎町の合同で、
内閣府アドバイザー澤田先生による
平成27年3月にワークショップ(DIG)の開催！！



県境を越えたハザードマップ作成

◎福井県側の吉崎地区と石川県加賀市吉崎町の合同で、
作成したハザードマップ第1弾
⇒今後はこのマップを活かした合同訓練を実現したい。



ご静聴ありがとうございました



加賀市と三木地区の今後の取り組み

- ・防災コミュニティスクール事業に関すること
- ・地区防災計画モデル事業に関すること
- ・県境を越えた津波防災避難訓練に関すること 等

◎お問い合わせは、

- ・三木地区まちづくり推進協議会（石川県加賀市三木町ニ126-1）
事務局 館長：竹本まで TEL:0761-72-1772
- ・加賀市役所（石川県加賀市大聖寺南町ニ41）
防災対策課 担当：南出まで TEL:0761-72-7891